

田口歯科医院ニュースレター

Vol. 40 2017年6月発行



発行先：田口歯科医院
住所：長崎市銅座町4-1りそな長崎ビル8F

今月のコラム一覧

- 院長室から
- 治療した歯もまた虫歯になる？
- Q：銀歯・金歯・セラミック、どれがいい？
- カルシウムを効率良く『きのこのクリームソース』
- 間違いさがし
- あじさい寺『三室戸寺(みむろとじ)』～京都府～
- 本『口腔医療革命 食べる力』
- 編集後記
- 院内掲示板

季節のご挨拶

こんにちは！今月の編集担当宮崎です。湿気の高い季節になってきましたが、皆様は元気でお過ごしですか？

さて、6月号は、治療後の歯が再び虫歯になってしまう理由や、かぶせ物の素材(銀歯・金歯・セラミック)について、そして、カルシウムを効率良く吸収できる『きのこのクリームソース』のレシピ等をご紹介します。今月も、私たちと一緒に口腔の健康を守り、健康な体を維持していきましょう♪

患者さんが知らない歯の怖い話 vol. 61



治療した歯もまた虫歯になる？

虫歯の治療が終わればもう安心！と思われるかもしれませんが、それは大きな間違いです。虫歯になると、虫歯を削ってそこに詰め物やかぶせ物をします。すると、歯と詰め物やかぶせ物の堺目に汚れが溜まりやすくなるうえ、年月が経つほど、堺目に段差や溝ができやすくなり、再び虫歯になる可能性が高くなります。何も手を付けていない健康な歯に比べ、一度でも治療をしたことのある歯のほうが、実は虫歯になりやすかったのです。

また、虫歯が神経の方まで進行して、神経を取る治療をした歯の場合は、再び虫歯になっても痛みを感じないため、気がついた時には相当進行して歯を抜かなければならないということも。治療をしたから安心ではなく、治療した歯は、今まで以上に気をつけてあげることが必要なのです。では、再び虫歯にならないためには、どうしたら良いでしょうか？



☆基本は毎日の歯みがき！…歯ブラシだけではなく、歯間ブラシやデンタルフロスを合わせて使って、お口の隅々までキレイにしましょう。歯ぐきとかぶせ物の隙間などは特に丁寧に。
☆歯科医院での定期検診！…定期的にチェックしてもらうことも大切。もし虫歯になっても、あまり進行しないうちに治療ができるので結果的に歯の寿命をのばせます。

治療した歯がある方は、今まで以上にメンテナンスをしっかりとしましょう。どんなフロスや歯間ブラシを使えばいいかわからない…などの不安や疑問がありましたら、お気軽にご相談下さいね。私たちと一緒に、お口と全身の健康を守っていきましょう！

さて、次回は『削るほどに短くなる歯の寿命！』です。お楽しみに♪



Q：かぶせ物には、銀歯・金歯・セラミック、どれがいい？

A：それぞれの特性を知り、自分にあった治療法を選択しましょう。

★銀歯…健康保険が適応されるため、治療費がそれほどかかりません。でも、密着性があまり良くないので、歯と銀歯のすき間から虫歯になりやすいのが欠点。金属の溶け出しによる金属アレルギーを発症する可能性もあります。

★金歯…よく伸びる金属なので、歯との境目がぴったり合ったかぶせ物ができます。金属アレルギーのリスクも少なく良い素材です。デメリットは金色が目立つことと、健康保険適用外なので費用が高くなることです。

★セラミック…メリットは自然歯とほとんど変わらない自然な白さの歯になること。陶器の一種なので金属アレルギーの方も安心な素材です。歯と密着するので、銀歯に比べ虫歯も再発しにくいですが、割れたり欠けたりするリスクがあることと、金歯同様に保険がきかないので費用が高くなるのがデメリットです。

衛生士・宮崎玲奈がズバリお答えします



ある社長さんのお話で…



こんにちは！院長の田口です。蒸し暑い季節がやって来ましたが、皆さんはいかがお過ごしですか？

先日、ある会社の社長さんから面白いお話をお聞きました。社長さんは姓名判断に詳しい方なのですが、初対面の方の名刺をあまり見ないようにしているのだとか。先入観が入り、その人を正しく理解できなくなるからだそうです。

また、社長さん自身のお名前はというと、やはり良い数を持たれています。もちろん姓名名だけで運命が決まるわけではないので、持って生まれた幸運を、努力によって大きく開花されたのでしょう。何事も日々の努力が大切ですね！

